

2025/3月

TSUDOI

# 【増刊】GOOD銘柄 継続分析レポート(3月)

TSUDOIはブロックチェーンと仮想通貨に特化した情報配信サービスです。

## 本レポートコンテンツ

### ◆ 『狙い目：中堅銘柄』 継続分析ガイド

過去Goodマークを付与した中堅銘柄の継続分析

### ◆ 『大穴：新規銘柄』 継続分析ガイド

過去Goodマークを付与した中堅銘柄の継続分析

このレポートはTSUDOIの有料サービス、スタンダードプランの加入者専用の情報です。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。

レポートの読み方については、一覧に含まれる [「必見！成功へ導く3つの仮想通貨投資術」](#) をご覧ください。

## 継続分析レポートで中堅・大穴銘柄を調査する理由

中堅・大穴銘柄は、成長のポテンシャルが大きい一方でリスクも高いため、注意深い分析と継続的なモニタリングが重要です。これらの銘柄に特に注目し、直近の潜在的な成長機会を探るとともにリスクを管理する分析を行っています。TOP銘柄とは異なる視点から、潜在的な大きなリターンを狙うための情報を提供しています。



TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待

できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。



有料  
レポート

# 過去週次レポート掲載 中堅銘柄 継続分析ガイド

## 『狙い目：中堅銘柄』 継続分析ガイド

### 調査・分析方法について

過去週次分析レポートにて高評価（Good）を付与した銘柄に関する継続調査。

この調査では、以下の点に着目して分析を行います。

1. 直近の注目ニュースの有無：過去高評価を得た銘柄が、その後も新たな注目を集めるニュースが発生しているかどうかを調査します。
2. 直近の重要指標推移：銘柄の市場でのパフォーマンスや他の重要な指標がどのように推移しているかを調査します。

これらの要素を総合的に評価し、投資家にとって有益な情報を提供することを目指しています。

### 2024年以降のGoodマークを付与した銘柄一覧

銘柄	レポート掲載日	銘柄	レポート掲載日	銘柄	レポート掲載日
Ethereum Name Service	2024年 1/12, 7/26	Axelar	2024年 3/14	MANTRA	2024年 7/19
Raydium	2024年 11/22, 2025年 1/24	Biconomy	2024年 4/5	Jupiter	2024年 8/2
Virtuals Protocol	2024年 12/13	Metis	2024年 4/26, 5/10	Aerodrome Finance	2024年 9/20
Starknet	2024年 3/8	Taiko	2024年 6/7, 11/13	Worldcoin	2024年 11/1
Manta Network	2024年 3/8, 7/5	Hyperliquid	2024年 12/20	ai16z	2025年 1/17
		Ondo	2024年 6/7, 7/26, 8/9, 9/26, 11/1, 11/22, 12/6	Ethena	2025年 2/7
				Pyth Network	2025年 2/21

※2023年 Goodマーク付与銘柄：ORDI, Celestia, Blur, Terra Classic

## Axelar : AXL

### 直近の注目ポイント：Capitalが米SECへ提出したAxelar (AXL) ETF申請

Canary Capitalが米SECへ提出したAxelar (AXL) ETF申請は、暗号資産ETFの多角化を象徴する動きとして注目を集めています。クロスチェーン技術で複数ブロックチェーンをつなぐAxelarへの資金流入可能性が高まると見られ、短期的にはAXL価格や流動性に影響が及ぶ可能性があります。より運用規模の大きな機関からの新規ETF申請や、審査の進展が確認されれば機関投資家の参加を加速させ、AXLトークンの流動性と認知度が大幅に向上する期待が膨らみます。ただし、SEC承認は容易でないため、市況や規制動向次第では遅延や却下のリスクが残ります。

## Ondo : ONDO (先週のGoodを継続中)

### 直近の注目ポイント：TVL10億ドル突破とRWA分野の先駆者としての期待感

Ondo Financeは米国債などのトークン化でTVLを10億ドル超に拡大したことが発表されています。Rippleとの連携でXRPL上の即時決済を目指し、DeFiと伝統金融の橋渡し役として評価されています。市場環境や米国規制の動向次第で、さらに成長しトークン価格が上昇する可能性がある一方、規制強化やマクロ経済悪化による短期的調整も考えられます。事業基盤を固めつつ、RWA分野の先駆者として今後の政策発表や大手金融との協業進展に注目が集まります。

## MANTRA : OM (先月のGoodを継続中)

MANTRAはRWA (Real World Assets) のトークン化を重視するLayer1チェーン。直近では、Google Cloud連携やドバイVARAライセンス取得で信頼性と国際展開を強化しています。新設のRWAcceleratorを通じ、不動産・金融商品・代替資産などを支援し、実需と規制遵守を背景に機関投資家の参入を促進しており、今後は欧米・アジア拡大と、世界経済フォーラムが予測する2027年の10兆ドルRWA市場の成長に乗る一方、規制リスクや市場変動にも警戒が必要となります。

## Ethena : ENA

### 直近の注目ポイント：アンロックイベントの収束と、注目の「USDtb」がBybitへ上場

3/5に2.07B ENA (総発行量の13.75%) のアンロックイベントがあり、一時的に価格が下落したが、市場吸収に伴いおよそ17%ほどリバウンドし、底打ちの兆しが見え始めているとのこと。また3/4にはステーブルコイン「USDtb」がBybitに上場しました。USDtbを保有することで米国財務省短期債 (Treasury Bills) の利回りを受取っていただけることからステーブルコイン市場に、新たな選択肢を提示しています。今後はENAの売り圧力が収束し価格安定へ向かう可能性がある一方、USDtb普及が進めば実需としてエコシステム全体での利用機会拡大が期待されます。

## Pyth Network : PYTH

### 直近の注目ポイント：1秒未満オラクルで複数のチェーンでの普及を目指す

3/7、Coinbase InternationalがPythのLazer技術を導入し、1秒未満の時間単位のリアルタイム価格データを実装する動きが注目を集めています。元々Solana基盤で知られるPythは、最近Polygon zkEVMやArbitrum Novaなど複数のEVMチェーンにもオラクルを展開し、高速・高精度な価格フィードを提供中です。これによりDeFiやDEXでの取引はもちろん、オラクル領域はRWA (Real World Assets) のトークン化領域においても必須インフラとしての需要が高まっていく期待感も注目要因となっています。

## 継続分析による調査結果(継続分析で特筆すべき注目要因がなかった銘柄)

### Raydium : RAY

2月末、Raydiumは競合AMM誕生の噂から大幅な下落を経験したとされ、Solanaネットワーク上の主要プロジェクトがRaydium以外を選択し始めれば流動性が低下し、需要が減る可能性は拭えない。長期的には、他のAMMとの差別化やパートナーシップ維持が価格の鍵となりそうです。

## Virtuals Protocol : VIRTUAL

Virtuals Protocolは、SOLチェーンへの展開に伴う流動性プール設置とBuyback & Burnプログラムの再開を告知し、進捗を公表。保有トークンのバーンやLPへの割り当てを実施し、一部参加者の延長要望にも対応中。これによりプロトコルのトークン循環と価値安定が図られ、透明性確保の面でも重要なアップデートと言えます。

## Starknet : STRK

StarkNetは、3/6 ステーキング機構を一新する“Phase 2”アップグレードの投票を3月10～15日にテスト形式で実施後、3月20～30日に本投票を行う。バリデータによるブロックアテスト導入を行うことで、バリデータの参加を促し、長期トークン保有の需要を増やすことに繋がるとして、承認されれば需給改善に伴うSTRK価格上昇が見込まれる。正式稼働は2025年Q2予定とのこと。

## Metis : METIS

MetisはAIとWeb3の融合を狙う“ReGenesis”構想の一環として「Hyperionチェーン」を発表し、2025年にかけてテストネットからメインネットへの段階的なローンチを予定しています。高スループットや並列実行、zkVMへの対応といった特徴により、AIアプリケーションのオンチェーン実行を強化する点が最大の注目ポイントです。開発スケジュールの進捗報告や実際の導入事例が増えれば価格上昇の材料となり得ますが、技術的ハードルや競合との比較など慎重な見極めが必要です。

## Hyperliquid : HYPE

先月発表されたHyperCoreとHyperEVMの統合テストや限定的機能の稼働は、フルオンチェーンのオーダーブックとスマートコントラクトのシームレスな連携により、CEXの課題を解決する可能性を示唆する。一方、Whaleによる大規模買い増しは、プロジェクトの将来性を信じる強い意思を窺わせています。想定シナリオとしては、テスト成功と買い支えが重なれば価格の反発や上昇が期待される反面、市場リスクや技術的トラブルが続く場合は下落も否定できない。投資家は最新の開発状況と市場動向を注視し、常に十分に柔軟に対応する必要があります。

## Aerodrome Finance : AERO

最近の大きな進展ではないものの、Aerodromeでは報酬モデルの再設計が継続して議論され、ガバナンス投票やインセンティブ配分の最適化を模索する動きが注目されています。また、3/4にCoinbaseのCoin50へ0.04%の割合で組み入れられたことが発表され、主要プラットフォームから一定の評価を得ている点も見逃せません。

## Worldcoin : WLD

RedStoneとの提携により、オラクル導入を行ったことが発表されており、Worldcoinエコシステムの利便性や開発者への訴求力を高め、トークン利用を増やすことが期待されています。ただし、実需への影響について考慮するとRedStoneとの提携は長期的な成長に寄与する一方、トークン価格への短期的インパクトは限定的という見方もあり、長期的視点でエコシステムの拡大を見極める必要があります。

## ai16z : AI16Z

3/6 AI16ZがCoinbaseの無期限先物取引銘柄に選定され、Coinbase International ExchangeおよびCoinbase Advancedにてフルトレーディングモードへ移行しました。これにより、リミット/マーケット/ストップ/ストップリミット注文も可能となり、投資家に多彩な取引手法と流動性向上の機会をもたらす将来的な市場拡大も期待されています。

直近1カ月のGoodマークの継続調査にて、新しい注目要因が見当たらなかった銘柄となります。

進捗なし：ORDI、Celestia、Ethereum Name Service、Manta Network、Jupiter

徐々にフォロワー減少中：Blur、Terra Classic、MantaNetwork、Biconomy、Taiko

# 過去週次レポート掲載 大穴銘柄 継続分析ガイド

## Goodマーク大穴・新規銘柄の継続調査

### 調査・分析方法について

過去週次分析レポートにて高評価（Good）を付与した銘柄に関する継続調査。

この調査では、以下の点に着目して分析を行います。

1. 直近の注目ニュースの有無：過去高評価を得た銘柄が、その後も新たな注目を集めるニュースが発生しているかどうかを調査します。
2. 直近の重要指標推移：銘柄の市場でのパフォーマンスや他の重要な指標がどのように推移しているかを調査します。

これらの要素を総合的に評価し、投資家にとって有益な情報を提供することを目指しています。

### 2024年以降のGoodマークを付与した銘柄一覧

銘柄	レポート掲載日	銘柄	レポート掲載日	銘柄	レポート掲載日
Xai	2024年 1/19	Saga	2024年 4/12	SaucerSwap	2024年 11/22
Manta Network	2024年 1/19	Omni Network	2024年 4/19	Morpho	2024年 12/6
Ondo	2024年 1/26	Merlin Chain	2024年 4/26	NAVI Protocol	2024年 12/13
Metis	2024年 1/26	BounceBit	2024年 5/17	Orca	2024年 12/13
Dymension	2024年 2/9	Taiko	2024年 6/7	Pangolin	2024年 12/20
Aevo	2024年 3/14	io.net	2024年 6/14	Origin Protocol	2024年 12/6
ether.fi	2024年 3/22	Artificial Superintelligence Alliance	2024年 7/5	Velodrome Finance	2024年 12/20
Ethena	2024年 4/5	LayerZero	2024年 7/5	DeepBook Protocol	2025年 1/10
Wormhole	2024年 4/5			Arcana Network	2025年 1/17

※2023年 Goodマーク付与銘柄：Arkham

※今回の継続調査にて新規Goodマーク付与する銘柄はありませんでした。  
 ※Manta Network、Metis、Taiko、Ondoは、中堅銘柄として注目要因を考察しておりますので、新規銘柄のトピックでは割愛致します。

## 継続分析による調査結果(継続分析で特筆すべき注目要因がなかった銘柄)

### Aevo : AEVO

Aevo L2上で、あらゆるAevo上場銘柄を対象に「あらかじめ決めた売買価格」や有効期限（最大3カ月）でオプショントレードが可能になったとのこと。具体的には、上昇余地のある銘柄に賭ける投機手法だけでなく、アンロックなどによる値下がり限定するヘッジにも活用できるようになります。特にアルトコインは注文板が薄く流動性に難があることが多いため、この柔軟で低コストの仕組みは需要拡大につながると期待されています。

### Saga : SAGA

先月末にローンチした「Liquidity Integration Layer (LIL)」は、ガス代中心の従来モデルを改め、流動性を経済設計の軸に据えた画期的アップデートです。これにより、DeFiだけでなくAIやゲーミングといった幅広い領域でも素早く流動性を確保しやすくなり、Sagaエコシステム全体の発展を加速させる重要な一手となるとのこと。ただし、競合過多のLayer1領域において、TVLなどのオンチェーンデータ実績が必要な段階にある銘柄でもあるので、これから実績が出てくるかを注視すると良いでしょう。

### Artificial Superintelligence Alliance : FET

本銘柄の構成組織の1部であるFetch.aiがWeb3ネイティブの大型言語モデル「ASI-1 Mini」を発表。単一の巨大モデルではなく複数の専門モデルやエージェントを組み合わせ、少ないGPU資源で高性能を実現。FETを用いた分散型参加モデルにより、ユーザーはAIの投資・トレーニング・収益分配に直接関与することが可能になるとのこと。今後は大容量コンテンツ対応やエージェント型ワークフローの強化により、金融やヘルスケアなど幅広い領域で自律的タスク処理が進むと期待されます。

### Orca : ORCA

Orcaが3/11付の公式ブログで、新機能「Liquidity Locking」を発表しました。これにより、投資家は安全性の高い流動性プールを利用しやすくなり、プロジェクト側も報酬を得ながら誠実性を示す機会が拡大。今後はrug pullリスクの軽減や流動性確保が進み、DEXエコシステム全体の信頼向上が期待される。

### Velodrome Finance : VELO

3/5にVelodromeが新たに「Unichain」への対応を発表したことで、複数のOptimism系チェーンを横断するリキッドインフラとしての存在感が一段と高まっています。Base (Coinbase) やink (Kraken) など今後成長が期待されるネットワークが多く、イーサリアムのスケーラビリティを支えるL2同士をつなぐ流動性ハブとして、中長期的な需要増への期待が持たれています。ただし、OPMainnetの需要は、Baseの需要と完全に連動しているわけではありませんので、今後の流動性の増加などの実数値に注目すべき銘柄でもあります。

直近のGoodマークの継続調査にて、新しい注目要因が見当たらなかった銘柄となります。

進捗なし：DeepBook Protocol(フォロワー数3か月連続増加)、Omni Network、Origin Protocol、LayerZero、Morpho(フォロワー数6か月連続増加)、Wormhole、SaucerSwap、NAVI Protocol(フォロワー数3か月連続増加)

徐々にフォロワー減少中：Xai、Arcana Network、Dymension、ether.fi、io.net、Pangolin、Merlin Chain、BounceBit

#### 引用元：

本レポートにおけるデータおよび分析は、以下の情報源を基にしています。

- CoinMarketCap：<https://coinmarketcap.com/>
- CoinCarp：<https://www.coincarp.com/>
- Messari：<https://messari.io/>
- TokenInsight：<https://tokeninsight.com/>

#### 注意事項

本レポートは、投資助言を提供するものではありません。提供される情報は、一般的な解説に限定されており、個別の投資判断に直接適用するものではありません。投資に関する最終決定とその結果について、当方は一切の責任を負いません。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。商業利用に関するお問い合わせは下記よりご連絡ください。

発行元：TSUDOI

メールアドレス：[info@sigmainc.co.jp](mailto:info@sigmainc.co.jp)

ウェブサイト：<https://tsudoi-platform.co.jp/>